

☆表情、身振りや話し言葉等を豊かにすることを目的とした課題を中心に掲載しています。

御家庭にあるものでできる課題の紹介

(自立活動 言語指導担当より)

自立活動の時間に取り組んでいる課題の中から、家にある身の回りの物やカタログ・広告の切り抜きを使って学習できるものを紹介します。御家庭の中で楽しく取り組めるとよいですね。



おなじものあつめ①

・ことばの概念の力を育てます。

準備

・集める事物のカタログや広告を切り抜いておきます(身の回りの物でもOK)。

内容

・目標の物の絵・イラストや具体物を1つ示し、「かばんをあつめよう」と声をかけます。

「かばんと靴に分けてみよう」

「かばんと靴と帽子に分けてみよう」

など、2つからはじめ、種類を増やして取り組めるとよいでしょう。

同じ名称でも

自分が使用しない物であっても同じ用途で使用するものであると理解できるように、具体物を使用したりジェスチャーをしたりして深めていきましょう。



おなじものあつめ②

・ことばの概念の力を育てます。

準備

・集める事物のカタログや広告を切り抜いておきます(身の回りの物でもOK)。

内容

・目標の物の絵やイラストを示し、「食べ物と乗り物に分けてみよう」と声をかけます。

興味、関心に応じて

動物、おもちゃ、身につける物

お風呂場にある物、お掃除する物 など



いろあつめ

・ことば、色概念の力を育てます。

準備

- ・集める色のついた物のカタログや広告を切り抜いておきます(身の回りの物でもOK)。
- ・分類する目標の色(折り紙、色画用紙など)の見本を用意しておきます。

内容

- ・目標の色を示し、「赤い色をあつめよう」と声をかけます。
「赤と青に分けてみよう」
「赤・青・黄・緑に分けてみよう」
など、2つからはじめ、種類を増やして取り組めるとよいでしょう。



同じ色でも

薄い色、黒みがかった色

チェックの柄、少し白色が入った物 など、様々入れても

同じ色のまとまりであると理解できるよう深めていきましょう。

なりきり～屋さん

・ことば(語彙、やりとり、記憶)の力を育てます。

準備

- ・集める色のついた物のカタログや広告を切り抜いておきます(身の回りの物でもOK)。

内容

- ・お菓子屋さん、お寿司屋さん、スーパーなどのお店屋さんとお客さんになりきり、イメージを持って活動を広げます。
- ・お店屋さんの場合「～ください」「～と～とください」など物の名前を増やすことで覚える力を高めます。
- ・「甘いね」「これはかたい！」など名称だけでなく形容詞も入れることで様々な言葉に触れる機会につながります。



かたちあつめ

・認知、見比べて判断する力を育てます。

内容

- ・手で表したり、書いたりして見つける形を示します。
家にあるものの中から「まるいものをさがそう」と声をかけ、同じ形のものを集めます。

例)

- …時計、ボール、お皿、テープ
DVD、ペットボトルキャップ
- △…積木、定規、帽子、
ハンガー、マーク
- …窓、ドア、本、リモコン、
テレビ



授業では、より形に着目しやすいようにイラストを印刷して形カードを作り、分類していました。

おはなしすごろく

・ことば、数の力（必要によって文字）を育てます。

準備

- ・(家にある)すごろく台紙に数カ所印をつけておきます。
- ・興味、関心などに応じて質問や活動を考え、紙に書いて質問カードにしておきます。
- ・さいころについては、1～3、1～6までなど理解度に応じて用意します。
(数字さいころ・量さいころなど、違うさいころの使用も)



内容

- ・さいころを転がし、出た目の数だけ進みます。
- ・印のある場所に止まると、束にして裏向けた質問カードを1枚引いて答えるか、活動を行います。

例) 質問

好きな食べ物、テレビ、動物、乗り物…
行ってみたいところ、

(～にあるもの)(⊕のつくもの)～を3つ答える
など

活動

動物の真似、肩たたき、高いところにのぼる
～の場所に行く、～を持ってくる、
など

